

「笑う」瞬間に惹かれて

○…落語好きが高じて、0人近い聴衆を前に、高座白を忘れないよう必死だった。真打・三遊亭圓王師匠が主に上がり、座布団に腰を落した。初舞台から5年、数々宰する「三遊会」(東京)のち着かせた瞬間、頭が真つの舞台を経て「ちよっと、扉を叩いたのは5年前。初白になった。「お客さんの表、その人、笑い過ぎだよ」舞台は、その半年後。10情が何も見えなかった。科と聴衆に語りかける余裕も

人物風土記

題字は市長 座間市



●講座「落語を楽しむ」の講師を務める 社会人落語家

仲亀 誠一さん

南栗原在住 67歳

出てきた。笑いを取るのが難しいとされる「シリアス」な演目にも挑戦するようになった。9月27日の講座では5年間で体感した、落語の醍醐味を伝える。 ○…社労士は、企業から雇用、年金、メンタルヘルス対策などの相談を受ける専門家。会社員時代に資格を取得し、19年前に事務所を立ち上げた。創業時は「石の上にも3年」の精神で顧客開拓に奔走。昼間は営業、夜は遅くまでアルバイトと、身を粉にして働き続けた。現在も初心を忘れず、顧客第一をモットーに「どうすれば顧客のためになるか」を日々追求する。

ツブツ喋って。周りの人は驚きますよね」と笑う。これだけ情熱を注ぐ落語。その魅力を聞くと、「自分が意図した笑い所で、お客さんが笑ってくれた瞬間」と力説する。そのすぐ後に、「でも、実際はそうならない事もあります」と破顔一笑。上げては下げて、盛り上げては落として、そのトークを歩んでいく。 ○…東京生まれで、約30年前に座間に移り住んだ。2人の子どもは独立し、今は妻と2匹の愛犬と暮らす。今後の活動について、「落語をある程度までやりこみたいですね」とニンマリ。肩肘張りすぎず、楽しみながら、一所懸命に、その道

「暮らしを豊かにする実践講座」(9月27日)ちらし

暮らしを豊かにする実践講座 (平成 26 年度)

落語を築く

パートⅣ

～落語の楽しさ大発見～



- ・ 第一部 落語への招待
落語のルーツ、用語等解説
- ・ 第二部 社会人落語家による落語他実演

とき : 平成26年9月27日(土)
午後1:30～3:00

- ところ : 座間市立東地区文化センター・2階学習室
対象 : 落語に興味のある方(初めての方も歓迎)
講師 : 社会人落語家 三遊会・三遊亭端王(仲亀誠一)
参加費 : 300円(資料代含)
定員 : 30名
申込み : 座間市立東地区文化センターへ
046-253-0781
主催 : ZAMA生涯学習ボランティア研究会
046-255-4001(仲亀)
協力 : 座間市立東地区文化センター



(次回の講座予定)

「パンの美味しい食べ方」 10月18日(土)